

# 公共事業の効果等について

## 【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 漁港機能高度化事業
- 路線名又は箇所名： 福所江漁港
- 事業の概要
  - 工 期：平成13年度～平成17年度
  - 事業費：334,500千円
  - 事業内容：係留施設整備（物揚場、船揚場）  
水域施設整備（航路・泊地浚渫）  
輸送施設整備（道路）

## 【公共事業の効果等】

- 漁港における就労環境（安全確保、軽労化）の改善
- 漁船修理等に係る手間や経費の削減
- 漁港施設の長寿命化や安全・安心の確保
- 漁船の安全な操業の確保

## 【事業実施前の状況等】

- 浮棧橋が整備される前は上流の物揚場から作業員が1人上陸し、下流の樋管の澇筋からその後地にある加工施設へ漁船からノリの陸揚げを行っていた。
- 潮位差があるこの漁港では、既設の物揚場から上陸するのは高齢者にとって負担が大きかった。
- 漁船が壊れたりした場合、芦刈側の船揚場がないことから近隣の漁港までえい航する必要があり、時間、人件費、燃料代などが多くかかっていた。また船の清掃、ペイント等の通常補修の際にはクレーンをリースし、一斉に船揚げを行っていたため、その費用もかかっていた。

## 【事業実施後の状況や県民の声など】

- 浮棧橋から作業員が上陸できるようになったので、ノリの陸揚げ作業と陸上部の作業が1人でも可能となった。
- 潮位差を気にせずに上陸が容易にできるようになったことから、高齢者でも負担なく作業ができる。
- 船揚場を整備したことにより、漁船修理のための近隣漁港までのえい航にかかる時間が解消された。  
また、今までかかっていたクレーンのリース料等の経費も不要となりその費用が削減された。
- 道路補修を行ったことにより、施設の長寿命化や安全・安心が図られた。

### （県民の声）

- ノリの陸揚げが1人で可能となったことや、高齢者も潮位を気にせず安全に作業が行えるので楽になった。
- 漁船の修理等にかかる手間や経費が少なくなった。自分たちの都合がいい日に陸揚げができて助かる。
- 整備前は通るのに不安があったが、今は安心して通ることができる。